

県外派遣報告書

審判員名	小原 宏太	所属	U18
大会名	第54回関東中学校バスケットボール大会		
期間	2024年8月7日(水)～9日(金)		
会場	船橋市総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月5日(月)	審判会議、研修会	ZOOM会議、自宅	
8月7日(水)	男女1回戦	船橋市総合体育館	
8月8日(木)	男女2回戦、準々決勝	船橋市総合体育館	
8月9日(金)	男女準決勝、決勝	船橋市総合体育館	
会議 講義 内容			
<p>(1) 挨拶</p> <p>○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 専務理事 大野 健男 様 全国につながる大会です。レフリーはチーム・選手・観客に気持ちよく進めてもらうためにいます。レフリーの都合ではダメ。事実を一つ一つ確認をして拾っていき、ルールにしたがって判定を下してください。1日で上手くなることはありませんが、トライ&エラーで技術の向上に努め、目標のステージに1日でも早く立てよう頑張ってください。最後の責任は私が取りますので、思う存分力を発揮してください。</p> <p>○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 審判部長 中嶽 希美子 様 久しぶりの関東大会です。さらに初めての審判員も多数います。至らぬ点があるかと思いますがお力添えをお願い致します。</p> <p>○関東バスケットボール協会 審判委員長 平原 勇次 様 多くの中学生は、判定に対してリアクションをほとんどしないが、是非耳を傾けて、寄り添った審判をしてください。</p> <p>(2) 指名審判員紹介・レクチャー</p> <p>○六角 亜沙美 様 ・審判のレベルアップに向けて リードの視野の取り方、ローテーションのタイミング → なにを見たいのかが大切 タイムマネジメントについて・・・声に出す、SCが20秒の時のゲームクロックを覚えておく、フリースロー時は必ず</p> <p>○岸 由貴 様 ・コミュニケーション ルールやガイドラインに即した言葉を使う 声をかけることで選手の集中力を高めたり、ファールを未然に防ぐことができる。 メラビアン の法則について ありがとうを伝える。正しい判定を重ねる。自分自身の強みや課題を明確にして、努力を重ねる。</p> <p>○渡邊 諭 様 ・メンタルの持ち方 信頼されるレフリーとは。正しい判定と姿勢について。</p>			

実技				
担当試合	期 日	8月7日	男子	1回戦
	対戦カード	銚子一(千葉) VS 大森第三(東京)		U1
	相手審判	CC: 岡龍哉氏(栃木) U2: 清水倫人氏(山梨)		
ミーティング内容		主任 阿久沢尚夫氏(群馬)		
<p>テンポセットがよくできていて、ファールが多い展開であったが、徐々にクリーンにしていくことができていた。点差が開く展開となったが、両チーム集中してゲームに取り組んでいた。第3Qで負けているチームがドライブした際に、コールできるものがいくつかあった。</p>				
担当試合	期 日	8月8日	男子	2回戦
	対戦カード	梅丘(東京) VS 小山(栃木)		U1
	相手審判	CC: 廣瀬俊昭氏(神奈川) U2: 湯浅将悟氏(千葉)		
ミーティング内容		主任 六角亜沙美氏		
<p>全体的に非常に良かった。Cでの立ち方など安定感のあるもので、コールも適切にできていた。コールしたオフボールスクリーンについて話題があがった。マジックタイムなどの把握が全体的に疎かになってしまった。</p>				
全体の感想				
<p>この度は関東中学校バスケットボール大会に派遣いただきありがとうございました。あまりU15カテゴリーでの県外派遣の経験がないため、今回初めてお会いする方々も多くいて、交流が広がるとともに、審判の技量の向上につながりました。ゲームについてはスキルも非常に高く、中学生のレベルの高さを感じました。普段担当しているU18カテゴリーとは異なり、ゲームの時間やマンツーマンしか実行できないことで余裕が持てる部分もあれば、育成年代ということでフィジカルについてやメンタル面ではより吟味しなくてはいけない難しさも感じました。</p> <p>最後になりましたが、眞榮喜審判部長をはじめ、埼玉県審判部の皆様、本大会に派遣いただきありがとうございました。そして、親切に対応してくださいました中嶽様をはじめとする千葉県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判平原様、ご講義いただきました指名審判員 渡邊様、岸様、六角様、大会期間中大変お世話になりました。全ての役員の皆様にも感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。</p>				